

ガントリークレーンの整備により コンテナ貨物の荷役効率が大幅に向上

いしかりわんしん
file04 **石狩湾新港**

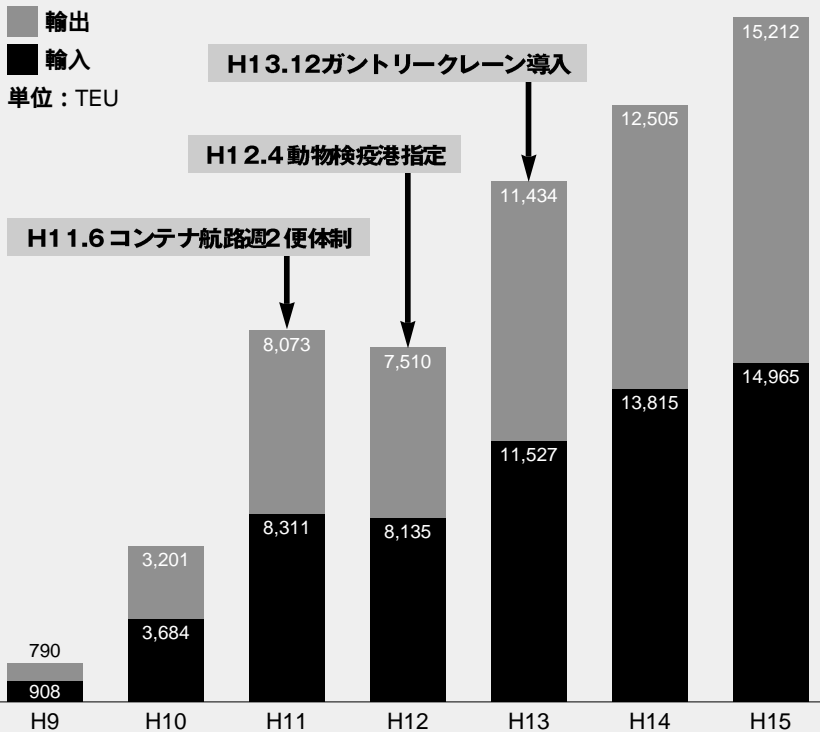
対象施設 中央地区多目的国際ターミナル 岸壁（-10m）
供用 平成13年

石狩湾新港では、平成9年7月から外貿定期コンテナ航路が開設され、平成11年6月からは週2便に拡充された。これにより、既存のジブクレーンでは本港における予定時間内での対応ができない状況となり、船社、荷主に対する荷役サービスが低下する状況になった。

しかし、ガントリークレーンの整備により荷役効率が1.7倍に向上し、平均荷役時間が13.6時間から7.6時間と、大幅に減少するなど、効率的な荷役サービスの提供が可能になった。



●石狩湾新港におけるコンテナ取扱量推移



第2部
個別港湾事例

ジブクレーンによる荷役



平均取扱本数20本 / 時間
(1便あたり13.6時間)

ガントリークレーンによる荷役



平均取扱本数36本 / 時間
(1便あたり7.6時間)